

金山町 議会だより

第202号

平成30年 8月 7日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



“避暑に最高” 高原の湖「沼沢湖」

〔6月定例会のあらまし 会期／6月14日～19日〕

(ページ)

6月定例会 乗合タクシー、基金状況確認	2～3
議案等審議結果一覧	4
一般質問に5人登壇	5～9



6月定例会

乗合タクシー 本格運行

6月定例会は6月14日から19日にかけて開催され、金山町乗合タクシーの設置及び運行に関する条例の制定や一般会計補正予算など10議案と、報告3件、議員提出議案2件が提案され、原案の通り可決されました。一般質問には、5人が登壇し町政をたどしました。

条例（議案審議）

●乗合タクシー

観光客は乗れるの 障害者の料金は 介添え者の料金は

問 観光客も乗合タクシーに乗られる仕組みに拡大したいという説明があったと思いますが、既存のタクシー業者に差し支えないか。

答 総務課長 町内のタクシー業者と打ち合わせを行っています。今までは「一般の観光客を乗せない」でしたが、これからは、

害者の方も無料にしているだけではないでしょうか。

答 総務課長 障害者の方は半額です。JRの料金等を参考にしていますので、一概に無料が良いとは考えていません。

問 介添えの必要な方の介添え者の料金は。

答 総務課長 介護者の料金は、金山町町営バス条例、廃止はしていますが、その中で2分の1の額と規定していますので、その条例の内容に沿って運用したいと考えています。

問 これはバスの条例とは違うわけですから、それについても明記すべきではないか。

問 3歳未満の方は無料ということですが、ぜひ障

「住民の足」として定着させたい乗合タクシー
まずは、みんなで利用して、改善点があれば「私たち議員に」お聞かせください

答 総務課長 細部については規則で定め、チラシや町広報等で周知したいと考えています。

●国保税

資産割 いつゼロに 31年度に

問 県の考え方は「資産割をゼロにする」ですが、今改定において減額はされ、比率の少なくなってきた

いますが資産割ゼロに合
わせる年度は。

答 住民課長 平成31年度には資産割をゼロにしたいと考えています。近隣町村の動向を見ても、昭和村、三島町、柳津町、会津坂下町、いずれも今年度に資産割をゼロにしています。県の方針ですと35年度まで段階的という解釈もできますが、資産割には色々問題がありますので、31年度にはゼロにしていきたいと考えています。

補正予算（議案審議）

住民の安心・安全 土木調査費32万 要望があれば

問 土木費、河川総務費、調査委託の32万4000円、詳しく教えて下さい。

答 建設課長 数年来、地区から要望があり、土倉地区の住宅地盤が沈下しており、その定点観測です。住んでいる方の不安解消のため沈下の状況を町で

定期的に調査をするという
ことです。

問 住民の安心・安全のためには、大変良いことだ。ただ、町内には、大変危険が予測される崩落等、色々ある。それらに対する町民の要望に対して、どのような考えの中で今回予算を組まれたのか。

答 建設課長 平成23年からの要望で、県の宮下土木事務所から、「県が工事

を行うことは困難である」という回答を昨年度得ましたので、住民の不安解消のため予算計上しました。ほかの地区にもそういう箇所があれば、区長等の要望により、危険がある場所については、県に要望していきたいと考えています。

財調基金の 適正額は 5、6億円

問 財政調整基金は減らして、目的のある基金をプラスする説明があつたが、財政調整基金を減らすことに対して、非常に疑問を感じる。

答 総務課長 財政調整基金は、国の監視の目になり強くなっています。財政調整基金は、使い道がどちらかというと一般会計等の補填等に使われますので、金額が多いということとは、「地方交付税が過大に評価されているのではないか」という指摘を受けます。なるべく目的を持つ基金を増やし、財政調整基金は減らしたいと考え

ています。予算額の20%程度の金額があれば、財政運営に支障がないと一般的に言われていますので、町の場合ですと、5億か6億ぐらいあれば十分だというのが一般的な見解です。

問 現在の11億円程度の財政調整基金を、5ないし6億円にする方法はどんな方法があるか。

答 総務課長 予算の足りないときに財政調整基金を取り崩し、今回のように予算が増えた場合は、ほかの基金に積み回しする方法で財政調整基金を減らしていきます。

凍結予算審査特別委員会の設置

町当局の説明不足（契約方法、執行計画、将来にわたる計画等）により、凍結された予算を審議する特別委員会が6月定例会で設置されました。

メンバーは、10人全員、
委員長は、黒川廣志議員、
副委員長は、奥 高伸議員です。

●6月19日の設置後、特別委員会が開催され、3月定例会で凍結された7事業の内、下記の2事業について審議されました。

- ① 農林水産物活用生産・加工施設等支援事業
…凍結を解除する
 - ・現在活動している加工所が、事業を継続できるよう支援する内容も含んでいると確認できたので事業を進められたい。
- ② 4条刈りコンバイン購入事業
…凍結を解除する
 - ・奥会津金山大自然に購入金額の3割負担で貸付けるわけだが、機械の点検等を十二分に実施し耐用年数まで使えるよう細心の取扱いを指導する確認ができたので事業を進められたい。



▲議長から伝達を受ける

県町村議会議長会表彰 五ノ井議員が受賞

この度、福島県町村議会議長会から五ノ井義一議員が功労者として表彰されました。五ノ井議員は議会議員在職11年以上、地方自治の振興発展に尽力されてきた功績によるものです。

人事

▼教育長
教育長に、滝沢敬樹氏（田沢・66歳）を任命することに同意しました。任期は8月1日から3年間です。

■議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	栗城康太郎	青柳ヨシ子	加藤賢享	黒川廣志	奥高伸	横田正敏	高橋信彦	五ノ井義一	馬場清次
■第3回定例会（6月定例会） 平成30年6月開催										
専決処分に関する承認について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町乗合タクシーの設置及び運行に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町教育長の任命に関する同意について	可決	無記名投票により採決（賛成9票・反対0票）								
■請願（6月定例会で採択されました）										
国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案（意見書は、関係機関に送付しました）										
金山町凍結予算審査特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■報告（6月定例会で報告されました）										
平成29年度金山町繰越明許費繰越計算書の報告について										
会津若松地方土地開発公社経営状況報告について										
株式会社奥会津金山大自然経営状況報告について										



「只見線貸し切り列車」を利用した観光客が大勢訪れた「道の駅奥会津かねやま」の特設テント



栗城康太郎議員の 一般質問

観光振興について

集客増を図りたい

問 観光による町の振興のためには、せっかく当町を訪れていただいた観光客の皆さんに『がっかりな町』の烙印を押されないよう受け入れ態勢の整備を進めていかなければならないと思う。町長も常日頃受け入れ態勢整備の必要性を述べている。

問① 観光客向けの町内二次交通の整備は。

答 町長 乗合タクシー

については、今年度から運行の拡充を図り、平日の朝晩、休日の運行が可能となるようにダイヤの改正を行い、一部の便には観光客も乗車可能となるように、制度の見直しを行ってまいります。しかし、予約がないと乗れないことや全ての便に観光客が乗車できない

ことなど、現在の乗合タクシーには改善の余地があると思っています。

問② 観光ポイントでのトイレの整備は。

答 町長 これまで大塩炭酸場前広場、会津川口駅前、大塩グラウンド・ゴルフ場とトイレの整備を着々と進めてきました。さ

らに近年、町内の観光スポットが増加しており、新規に整備する必要性を十分に認識していますので、引き続き整備を進めるとともに、維持管理にもしっかりと取り組んでいきます。

問③ 町イベントの来場者数減少の原因と対策は。

答 町長 湖水まつり、ごつつおまつり、雪まつりについては、来場者数が減少傾向にあります。その原因の一つが情報発信力の不足にあったと認識しています。その対応として、テレビコマーシャルなどにより効果的にイベントの周知を行い、集客増を図りたいと考えています。

森林の維持管理について

町だけで解決できる問題ではない

問 森林経営管理法が5月25日成立しました。森林の持ち主には適時に木を植え、育てて伐採する経営管理の責務があると規定し、市町村にも大きな役割を求めています。当町は、町の面積の91.7%が森林であり、山を守り育て、生

かしながら次世代に引き継いでいくことは、第四次金山町振興計画の重要な施策の一つでもあります。

問① 森林の持つ様々な機能は。

答 町長 二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止や、災害防止・国土保全、水源涵養等のほか、野生鳥獣の進入防止のための緩衝帯の役割、森林景観や空間は人々が生活していく上での心の安らぎを与えるなど、多様性に満ちた機能を有していると考えています。

問② 少子高齢化の中で、森林をどう維持していく。

答 町長 木材価格の低迷と、十分な流通システムが確立されていないため、コスト高となり森林所有者への利益を配分することができない状況です。流通システムは、当町だけで解決できる問題ではないため、会津地域森林資源活用事業推進協議会を通じた広域連携の中で、システ

ムが構築されることを期待しています。そして、森林の持つ多面的な機能の活用です。住んでいる我々はもちろんのこと、当町を訪れる観光客等が美しいと感じる森林景観整備が必要です。里山や天然林の持つ癒やしの空間の整備を進めていきます。



只見川の水位の変動が大きいと
利用できなくなる船着場(霧幻峡)

横田正敏議員の 一般質問



小規模企業振興基本条例を制定し支援を

商工会の自助努力を期待したい

問 商工会より要望のあった条例の制定について、どのように受け止め、どう対処されたか伺う。

答 町長 要望は昨年11月にあり、要望に至った経過等についてお聞きしました。町では、これまで中小企業の支援策として、経営基盤の安定のため、借入入れた設備投資、運転資金に係る利子の一部助成や

信用保証料の助成のほか、町内消費の喚起を図るため、妖精の里商品券事業を実施してきました。町内企業のほとんどが小規模企業者であり、小規模企業者が地域社会の形成に果たす役割は大変大きいと認識しています。金山町小規模企業振興基本条例の制

定により、小規模企業対策の一層の推進を図ることは大変重要なことだと考えています。

問 JR只見線会津川口・只見駅間が開通に向けて工事が着工した。大きな期待と多くの課題を乗せ動き出した。会津川口駅が通過点になってしまふので

はないか。只見線を活用した商店の活性化対策は。
答 町長 商工会の組織の強化、これが私は一番重要だと思っています。町に頼ればいいんだということではなく、商工会そのもとではなく、商工会そのものが、今のままではだめだという危機感を持って対処する必要があると私は

実績のある事業を支援し持続的交流人口の増を できるものからやっていきたい

問 「大塩炭酸場」の渇水対策を早急に。

答 町長 つるの湯のトイレを借りながら、難をしのいでいるという状況だそうです。金山町の地域の中にトイレをつくる必要があると思っていますので、十分心の中に刻んでおきたいと思っています。

問 建設課長 再度、県会津若松建設事務所や宮下土木事務所、新たな観光名所となった霧幻峡の渡しについてコンクリート

の部分(船着場)や木製の棧橋ができないかについて要望していきたいと思っています。
答 町長 私も常々これからは地方の時代だと、特に日本の原風景を残した金山のような地域がこれから必ず脚光を浴びるときが来ると思っています。地域の宝、これをしっかりと磨き上げることが大事だと思います。できるものからやっていきたいと思っています。

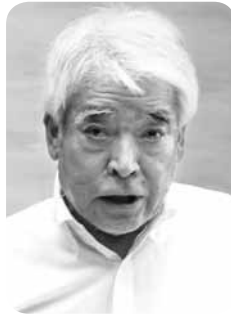
問 「霧幻峡の渡し」事業は、将来町への経済波及効果が期待される。トイレ整備やダムの変動に

備えるため、炭酸場の近隣の井戸から引水する工事を予定しています。観光客が夏場でも引き続き炭酸水をお楽しみいただけるよう、早急に整備していきたいと考えています。

「大塩炭酸場」「霧幻峡の渡し」の実績のある事業を活かしてチャンスをつかみましよう。

只見線復旧と利活用計画について

県や近隣町村と連携して進める



●鉄道軌道整備法は

問一 鉄道軌道整備法の改正の動向は。

答 町長 6月15日の国会参議院本会議で全会一致により、可決成立いたしました。

●地元負担増は

問二 復旧費の地元負担増はないのか。また、マスコミによると県は「法改正により、県負担の27億円

半額が国から特別交付税

として公布されると思われるので、負担すること

答 町長 福島県が只見

線の復旧について相当の覚悟を持って取り組むと

明言していること、改正鉄道軌道整備法が成立し、地元負担が軽減されること

答 復興観光課長 そっ

くりそのまま復旧費用に使うのか、それとも一部、利活用に係るお金として

使うのかということについては、県の担当課のほうでも今後検討していかな

問三 3年後に復旧する

●年次計画は

予定だが、橋梁の架設等大

がかりな工事だ、年次計画は。また、現在でも、国道

答 町長 JR東日本か

らの具体的な内容は示されていませんが、第5只見

川橋梁及び第6只見川橋梁の上部工は平成31年度

答 建設課長 大規模な

事業に伴いまして、大型ダンプの通行に関する安全

の徹底については、事業主体に安全な走行をお願い

●行動計画は

問四 県が策定した「只見線アクションプログラム

答 町長 外国人旅行者

への対応では、受け入れ態勢整備のため、会津川口駅で旅行者のアンケートを

問② 只見町との共同事

業の内容は。

答 町長 両町独自の事

業計画の作成や両地域向けの旅行商品の企画づくりを行う内容で協議を進

問③ 福島県が行う事業

答 町長 各種協議会等

事業に關しても、宮下土木

事務所と連携し、協力して事業を実施する方向で打ち合わせを行っています。

●田島・川口間のバスは

問五 福島県が本年度実施する会津地区の二次交通強化実証事業の具体策

答 町長 町としては、田

島・昭和・川口ルートを要望していましたが、バス事業者との調整等運行までの時間的な制約もあり、今

態でありますので、県に対して引き続き要望していきます。



只見線復旧工事起工式で挨拶する
国土交通省 藤井直樹鉄道局長(当時)



安心して、農業が続けられる取組を願う
大塩地区での田植えの様子

青柳ヨシ子議員の 一般質問



種子法について

これまでどおり県では対応している

問 今年4月1日、種子法（1952年成立）が廃止されました。米、麦や大豆など主要農産物について優良な種子の生産・普及を各都道府県に義務つけた種子法の廃止は、安価で安定的な公共種の提供や食の安全が揺らぐ懸念が広がっています。長野県では、廃止後も誰もが安心して利用できる優良な種子を

農家に提供するため予算をつけています。金山町も県に対して独自に農家に供給する仕組みづくり（基本要綱）を要望して下さい。

答 町長 今年4月より主要農産物種子法は廃止されました。種子法では、主要農作物である稲・大豆、

麦等の優良な種子の生産及び普及を促進するため、圃場審査や生産物審査を県が実施することとなっていました。福島県では、優良な種子の供給は、農業振興上、最も基本的で重要な事項であることから、引き続き品質の高い種子を

安定して供給できるよう、要綱、要領を策定し取り組んでいます。

問 福島県が今後も安定して供給できるように取り組んでいくとお答えですが、予算も計上されているのでしょうか。

答 産業課長 種子法が廃止になりましたけれども、これまでどおり、福島県では農業総合センターや会津地域研究所におきまして、原原種並びに原種の栽培を引き続き実施します。ので、予算化されていると認識しています。

介護保険について

介護保険を利用するためには保険料を納付していただくことが前提条件

問 ホームヘルパーの資格取得について3月議会で質問しましたが、どうなりましたか。

答 町長 4月からホームヘルパーが1名増えました。しかし、十分な在宅介護サービスのためには、まだ不十分であると認識しています。ホームヘルパーの資格取得は、希望者が会津若松市や郡山市の研修を受講する場合、町社会福祉協議会が受講料を助

成する制度がありますので、制度を活用して人材の育成と確保に努めていきたいと考えています。

問 介護保険を利用したくても利用料が払えないため利用できない方はいませんか。一人暮らしの高齢者の多い金山町。介護保険を利用して健康で長生きするために、利用料の助成をお願いします。

答 町長 保険料が未納であるがゆえに介護保険

を利用していないという方は現在いらっしゃるかもしれません。しかし、介護保険を利用するためには保険料を納付していただくことが前提条件になります。この自己負担に対する助成は行っていないですが、ケアプランを作成するとき、費用面も含めて検討し、無理のない適正なサービス内容にすることが負担の軽減にもつながるものと認識しています。

が前提条件になりますので、滞納者の方にはまず未納の解消に努めていただきたいと考えています。介護保険の利用に際しては、低所得者に対する軽減措置として、施設サービスを利用した場合の居住費や食費の減額、また、高額介

護サービスの費支給制度がありますので、過重な負担を避けることができます。なお、介護保険を利用するには、1割または2割の自己負担が必要になります。この自己負担に対する助成は行っていないですが、ケアプランを作成するとき、費用面も含めて検討し、無理のない適正なサービス内容にすることが負担の軽減にもつながるものと認識しています。

平成30年 8月7日

大塩グラウンド・ゴルフ場の管理運営について

落成式は9月20日を予定



問 大塩野球場跡地にグラウンド・ゴルフ場が整備され、平成30年10月頃からの利用を目指している」と説明を受けている。30年度予算には、グラウンド・ゴルフ場備品購入費として300万円、グラウンド・ゴルフ場等管理委託料として300万円が計上されている。現状と今後の管理・運営について伺う。

答 教育長 備品購入は、一部が6月13日に納入され、芝刈り機は8月16日の納期限で納入される予定です。維持管理委託については、除草、散水、芝刈り等の管理作業を行います。大塩グラウンド・ゴルフ場の現在の状況は、芝がまだ

らに伸びていて、雑草が生えてきている状況です。今後、維持管理委託業者が作業内容に沿って計画的に作業を進める予定です。また、落成式は9月20日を予定しています。落成式後、記念大会の開催を計画しています。今後の運営につ

いては、運営委員会を立ち上げ検討していく予定です。現在、雑草が繁茂し、芝も十分に生長していません。また、水はけの悪い箇所もある。至急対策が必要だ。

答 教育次長 一部草刈

炭酸泉活用先進地視察、町活性化にどう活かす。

稀少な温泉地の特性を活かす

問 町は、今年2月に大分県竹田市の長湯温泉に「炭酸泉活用についての視察研修」を実施された。研修先では炭酸温泉を住民の健康増進や、観光誘客に活用し経済効果も上がっている等、炭酸泉活用は財政面でも得策である」と報告を受けた。町は、この視察研修を町の炭酸温泉・炭酸水活用施策にどう活かして行くのか伺う。

答 町長 温泉力を生かした予防医療、健康づくりを取り入れたヘルスツーリズムに着目し、温泉療養を主とした滞在型観光客の誘客を進めたいと考えており、その第1段階として、炭酸温泉及び炭酸水の効能についての医学的調査の実施を検討しています。調査の結果をもとに、温泉地の特性を活かしたプログラムの開発、提供及び国内外への信頼のある情報発信につなげていき

たいと考えており、炭酸温泉への誘客増に努めながら、将来的にはせせらぎ荘の隣接地を整備し、湯治客の受け入れが可能となるよう積極的に進めていきたいと考えています。

問 住民の健康づくり、観光誘客、具体策が必要だ。重炭酸イオンの多い町内の他の温泉の魅力発信も必要だ。

答 町長 泡つきが良い

ばかりが炭酸温泉ではありません。「重炭酸イオン」が一番大事だということです。日本全国で2万7000カ所以上の源泉がある中で、わずか0.6%しか炭酸温泉は存在しない。その事実を見るだけでも、貴重なものだと思います。ですが、その中でも金山町には4カ所の炭酸温泉があります。これは画期的なことだと思います。これの一つの売り物としてやっていく必要があります。



7月20日に開催された大会
秋には、新しいコートで



「テレビニュース」

ニュースを見て思う、何と悲惨な事件が多い事か…無差別に他人を襲う…我が子を虐待し、拳句の果て命までも奪う。

聞けば原因の一つには、加害者の異常な人格によるところが大きい、更にその人格に至った経緯は、幼い頃の不遇な生活環境に起因する事もあるようだ。成長段階において、協調性を身につける事が出来ず 様々な理由から、他人との接触を避け、孤独を好むようになる。

若い頃、新潟県の研修所の先生に教えてもらった事がある。

『お前たち、子供の頃から、他人に迷惑をかけてはいかん！ そう 教えられて来ただろ。あれは間違いだ！ 人生大いに迷惑をかけなさい！ ただ、迷惑のかけっぱなしはいかん。』 どう言う事か？

『お前たちも旅行に出かけるだろう、出かけた先の近くに、知り合いの家があったら突然でも良いから訪ねなさい。迷惑かも知れんが、あまり気にするな。長居はせずに切り上げ、帰って来てから丁寧な礼状を書く事。そして最後には必ず「近くにお越しの際は、是非我が家にもお立ち寄りください」と書けば、相手も来易くなるだろ！ そうして相互理解が進むんだよ。』

我が家にも突然訪ねてくる友人がいる。今年の春先、トマトを一箱抱えやって来た。タダ酒飲ませてなるものかと、耕運機で畑を耕してもらった。夜、酒を酌み交わしながら聞けば、家を新築したとの事。耕してもらった畑には今、ジャガイモの葉が青々と茂っている。

さてさて、どうしたものかの。 ジャガイモ一箱持って、新築祝いにでも出かけますか…。

(高橋信彦)

講演『健康寿命延伸のため』 両沼地方町村議員交流会で聞く

7月13日会津坂下町において、両沼地方町村議会議員交流会が開催されました。交流会では、会津医療センターの橋本重厚先生の講演が行なわれ、先生の専門である内分泌・代謝疾患について福島県の事例、特に会津地方での生活習慣から発症する疾患（高血圧・脂質異常・糖尿病・心筋梗塞・脳梗塞）の傾向や、医療費・介護費に及ぼす影響、今後の対策などについて話を伺いました。



▲町村長も一緒に聴講

ごあんない

次回の定例会は、9月7日ごろ開会の予定です。

一般質問は9月10日ごろとなります。

お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り

4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井清二
〔編集委員〕 委員長 馬場 清次
副委員長 黒川 廣志
委員 栗城康太郎
〃 青柳ヨシ子
〃 加藤 賢亨
次回、金山町議会だより
第203号は、11月上
旬ごろ発行の予定です。